

目次

01 基本機能.....	1
ユーザインターフェース.....	2
AutoCAD の起動.....	2
ユーザインターフェース.....	3
アプリケーションメニュー.....	4
クイックアクセスツールバー.....	6
リボン.....	9
コマンドウィンドウ.....	11
ステータスバー.....	12
パレット.....	13
モデル空間とレイアウト空間.....	14
クイックビュー.....	15
ファイル操作.....	17
新規図面を開く.....	17
既存の図面を開く.....	18
図面に名前を付けて保存する.....	19
図面を上書き保存する.....	20
図面を閉じる.....	21
画面コントロール.....	22
マウスの操作.....	22
マウスホイールの操作.....	23
カーソルの種類.....	24
画面表示のコントロール.....	25
基本操作.....	28
ダイナミック入力.....	28
コマンドの実行方法.....	29
元に戻す、やり直し、キャンセル.....	31
座標入力.....	32
作図補助機能.....	35
スナップ、グリッド.....	35
オブジェクトスナップ.....	36
極トラッキング.....	39
オブジェクトスナップトラッキング.....	40
02 オブジェクトの作成.....	41
主な作成コマンド.....	42
線分[LINE]コマンド.....	42
円[CIRCLE]コマンド.....	44
円弧[ARC]コマンド.....	46
楕円[ELLIPSE]コマンド.....	48
ポリライン[PLINE]コマンド.....	50
長方形[RECTANG]コマンド.....	53
ポリゴン[POLYGON]コマンド.....	56
03 オブジェクトの選択.....	59
オブジェクトの選択方法.....	60
オブジェクト選択の基本.....	60
オブジェクトの選択表示.....	63
類似したオブジェクトを選択.....	64

クイック選択[QSELECT]	64
04 オブジェクトの編集	67
グリップ編集	68
グリップモードによる編集	68
多機能グリップによる編集	68
主な修正コマンド	70
削除[ERASE]コマンド	70
移動[MOVE]コマンド	71
複写[COPY]コマンド	73
オフセット[OFFSET]コマンド	76
回転[ROTATE]コマンド	79
鏡像[MIRROR]コマンド	81
トリム[TRIM]コマンド	83
延長[EXTEND]コマンド	86
フィレット[FILLET]コマンド	89
面取り[CHAMFER]コマンド	92
尺度変更[SCALE]コマンド	96
ストレッチ[STRETCH]コマンド	98
配列複写[ARRAY]コマンド	99
◆ [矩形形状配列複写]	100
◆ 円形状配列複写	103
◆ パス配列複写	106
◆ 自動調整配列複写の編集	109
ポリラインの編集	113
05 画層とプロパティ	115
画層	116
画層プロパティ管理	116
画層のコントロール	121
オブジェクトのプロパティ	126
プロパティコントロール	126
06 文字	129
文字入力	130
文字記入[TEXT]コマンド	130
文字の編集	131
マルチテキスト[MTEXT]コマンド	132
マルチテキストの編集	134
文字スタイル管理	135
文字スタイルの作成	135
文字スタイルの切り替え	136
07 寸法	137
寸法	138
寸法記入	138
寸法編集	142
寸法スタイル管理	145
寸法スタイルの作成	145
寸法スタイルの切り替え	153
マルチ引出線	154
マルチ引出線の記入	154
マルチ引出線の編集	155

マルチ引出線スタイル	157
マルチ引出線スタイルの作成	157
マルチ引出線の切り替え	160
08 ハッチング	161
ハッチングの作成	162
ハッチング[HATCH]コマンド	162
ハッチングの編集	169
ハッチング編集	169
09 レイアウト	171
レイアウトの使用	172
レイアウトの基本	172
ページ設定	173
ビューポートの作成	175
ビューポートのコントロール	177
ビューポート内のコントロール	178
10 異尺度対応注釈	181
異尺度対応注釈	182
異尺度対応注釈とは	182
異尺度対応オブジェクトの作成	183
注釈尺度のコントロール	186
レイアウトと注釈尺度	188
レイアウトでの注釈尺度	188
11 テンプレート	191
図面テンプレート	192
テンプレートとは	192
図面テンプレートの作成	192
12 印刷	201
印刷	202
プリンタの登録	202
ページ設定	204
印刷スタイルとは	207
印刷スタイルテーブルの作成	208
印刷方法	212
ファイルへの出力	213
バッチ印刷	215
13 ブロック	217
ブロック定義	218
ブロック定義とは	218
ブロックのプロパティ	218
ブロック定義[BLOCK]	220
ブロック書き出し[WBLOCK]	222
ブロック挿入[INSERT]	223
ブロック定義の修正	225
属性	227
属性定義	227
属性定義の編集	231

01 基本機能

ユーザインターフェース

AutoCAD の起動

AutoCAD は、次の 2 つの方法から起動します。

■ 方法 1

デスクトップアイコンをダブルクリックして起動

Windows のデスクトップに配置された[AutoCAD2013]アイコンをダブルクリックします。



■ 方法 2

Windows のスタートメニューからプログラムを選択して起動

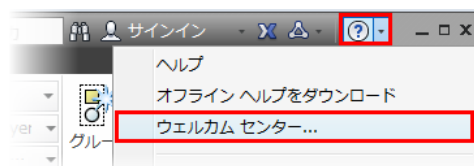
[スタート]-[すべてのプログラム]-[Autodesk]-[AutoCAD2013 – 日本語(Japanese)]-[AutoCAD2013 – 日本語(Japanese)]を選択して起動します。

● ウェルカム センター

AutoCAD を起動すると[ウェルカムセンター]が表示されます。[操作]パネルでは、図面の新規作成や既存図面を開くことができます。また、最近使用したファイルへのアクセスも可能です。[トピック]パネルには、新機能のビデオチュートリアルやその他の学習リソースが提供されています。[関連トピック]パネルからは、Autodesk Exchange Apps や Autodesk360、Facebook や Twitter などの SNS へアクセスすることができます。

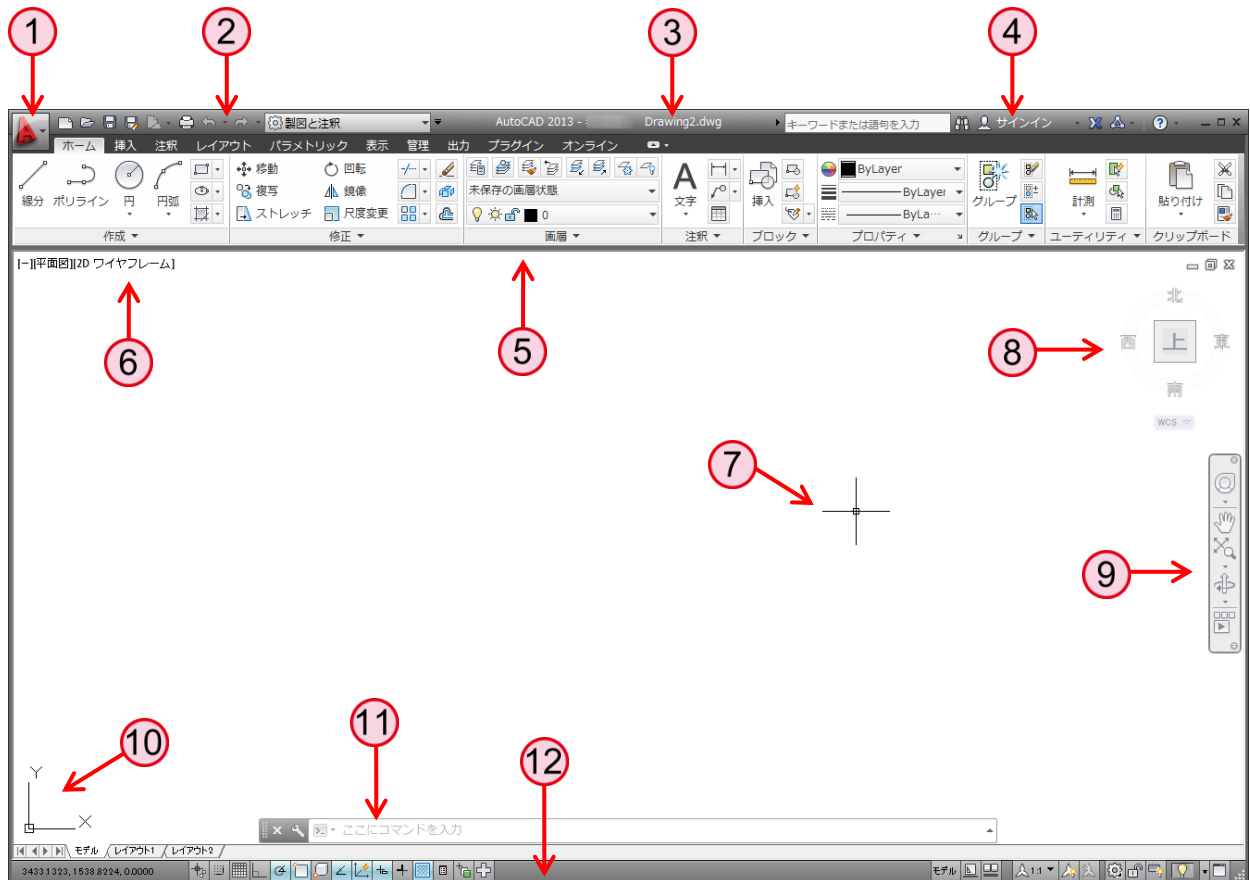


ウィンドウの右上にある[情報センター]—[ヘルプ]のフライアウトから、いつでもウェルカムセンターにアクセスできます。



ユーザインターフェース

AutoCAD を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。主な画面構成と名称、役割は次の通りです。

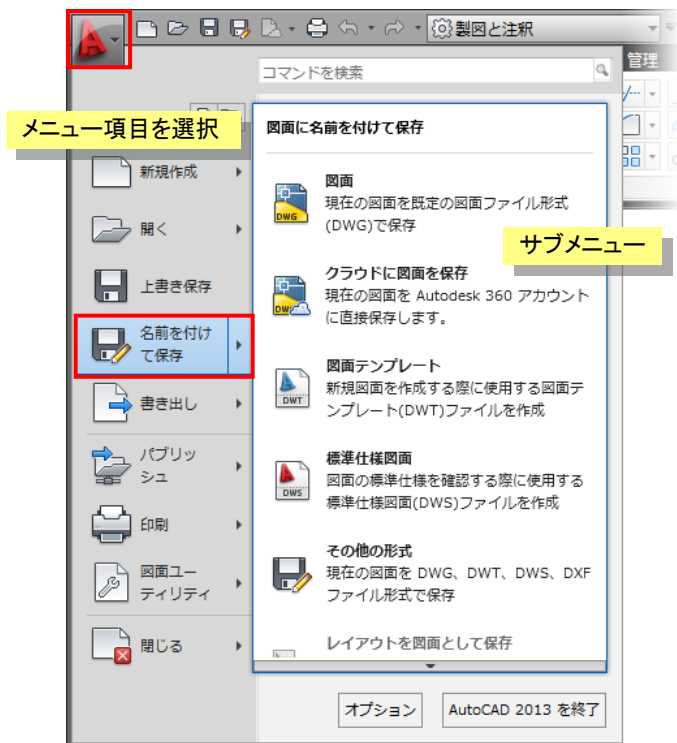


① アプリケーションメニュー	ファイル操作や印刷など、多くの標準的な機能にメニュー形式でアクセスします。
② クイックアクセスツールバー	頻繁に使用する標準的な機能にアイコンからアクセスします。
③ タイトルバー	開いている図面のファイル名などが表示されます。
④ 情報センター	キーワードを入力した情報の検索、Autodesk 360 へのサインインなどが行えます。
⑤ リボン	タブとパネルで構成され、関連付けされたツールが納められた小型のパレットです。
⑥ ビューポートコントロール	ビュー、ビューポート、表示スタイルの設定を作図領域でコントロールします。
⑦ クロスヘアカーソル	作図領域では、カーソルの外観は動作によって変化します。
⑧ View Cube ツール	現在の視線方向を示します。ツールをクリックすると視点方向が切り替わります。
⑨ ナビゲーションバー	頻繁に使用する画面操作のツールが配置されています。
⑩ UCS アイコン	現在の座標系を示します。
⑪ コマンドウィンドウ	操作の履歴や次の操作へのメッセージが表示されます。
⑫ ステータスバー	作図補助機能、表示コントロール、図面ステータスの機能が配置されています。

アプリケーションメニュー

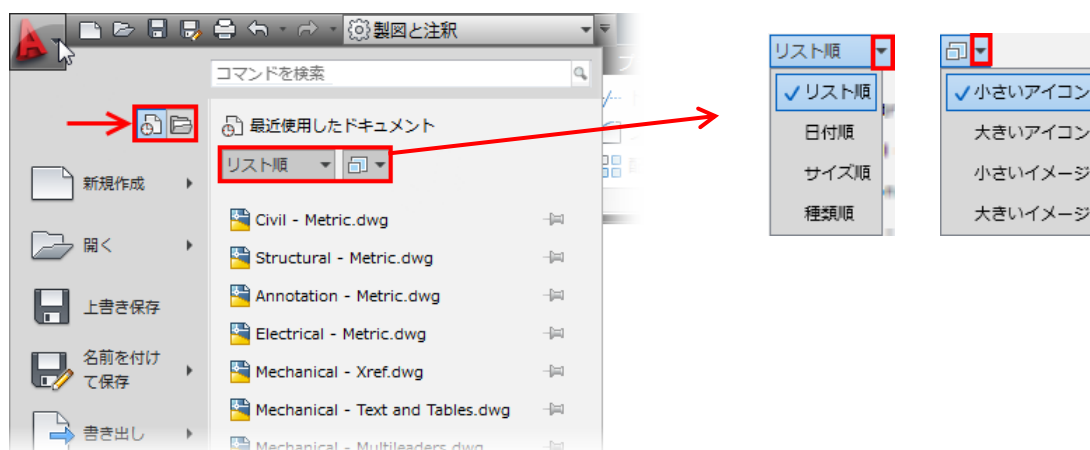
ファイル操作や印刷などの一般的なツールにアクセスします。メニュー項目のコマンドを選択するとサブメニューが表示され、的確な選択が可能になります。

そのほか、コマンドの検索やオプションなどの多くの機能をアプリケーションメニューより実行できます。



● [最近使用したドキュメント]・[開いているドキュメント]

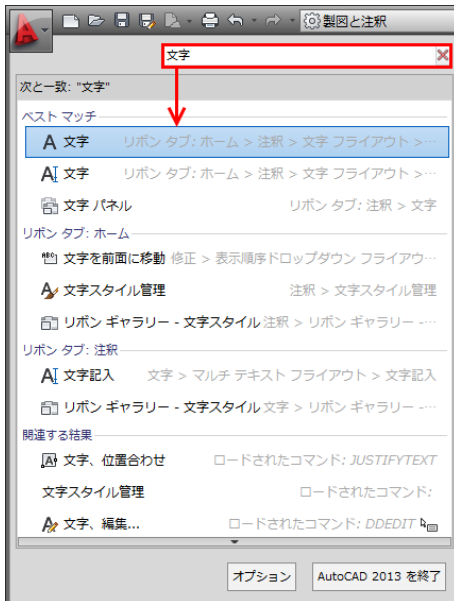
[最近使用したドキュメント]ボタンを選択すると、右側の領域に最近開いた図面の一覧が表示されます。リストを選択して手早くファイルを開くことができます。リストの順序や表示方法は変更することができます。また、ピンマークをクリックしてドキュメントを固定し、リストに残していくことも可能です。



[開いているドキュメント]ボタンを選択して、現在開いている図面の一覧を表示することができます。順序を変更する機能とピンで固定の機能はありませんが、リストを選択することで図面の切り替えが行えます。

● [検索フィールド]

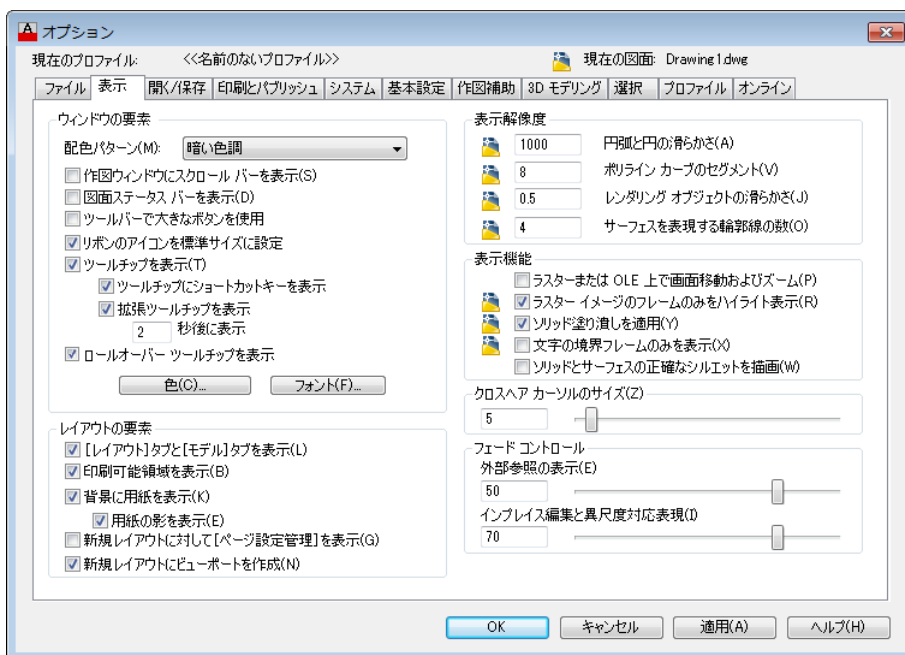
[検索フィールド]に検索するキーワードを入力すると、関連するコマンドのリストが表示されます。リストから目的のコマンドを選択し、実行することができます。



例) 「文字」の検索結果

● [オプション]

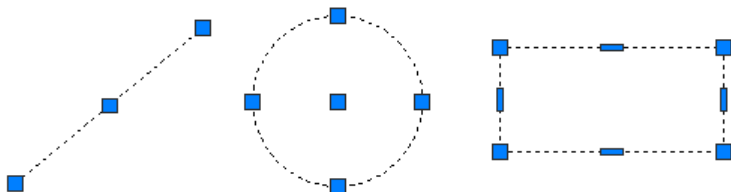
アプリケーションメニューの最下部から[オプション]にアクセスできます。AutoCAD のさまざまな基本設定は、[オプション]ダイアログボックスで行います。



04 オブジェクトの編集

グリップ編集

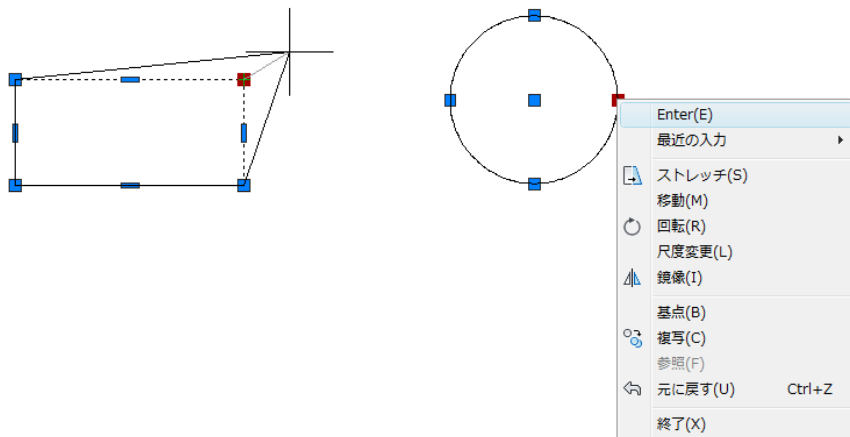
コマンドを実行していない状態でオブジェクトを選択するとグリップが表示されます。このグリップを使用して編集を行うことができます。



グリップモードによる編集

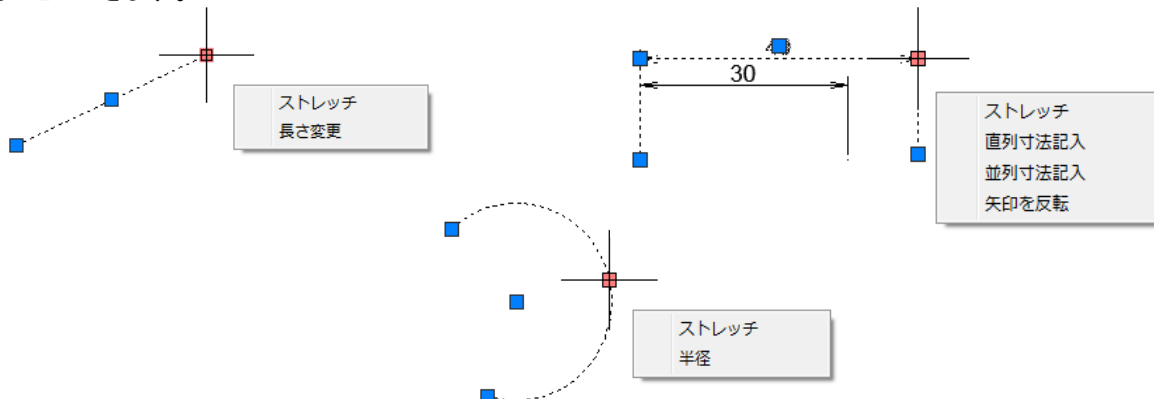
グリップを選択すると既定のグリップモード([ストレッチ]モード)によって編集を行えます。また、[Enter]キーまたは[Space]キーを押して、他のグリップモードに切り替えることができます。[移動]、[回転]、[尺度変更]、[鏡像]のグリップモードを循環して選択できます。

選択したグリップで右クリックすると使用可能なグリップモードとオプションが表示されます。



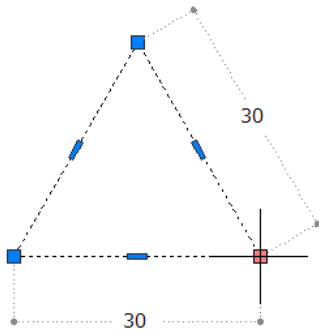
多機能グリップによる編集

線分、ポリライン、円弧、楕円、スプライン、寸法、マルチ引出線には、多機能グリップが表示されます。グリップにカーソルをあわせると、選択したオブジェクトに関連した編集機能がショートカットメニューに表示され、実行することができます。



NOTE

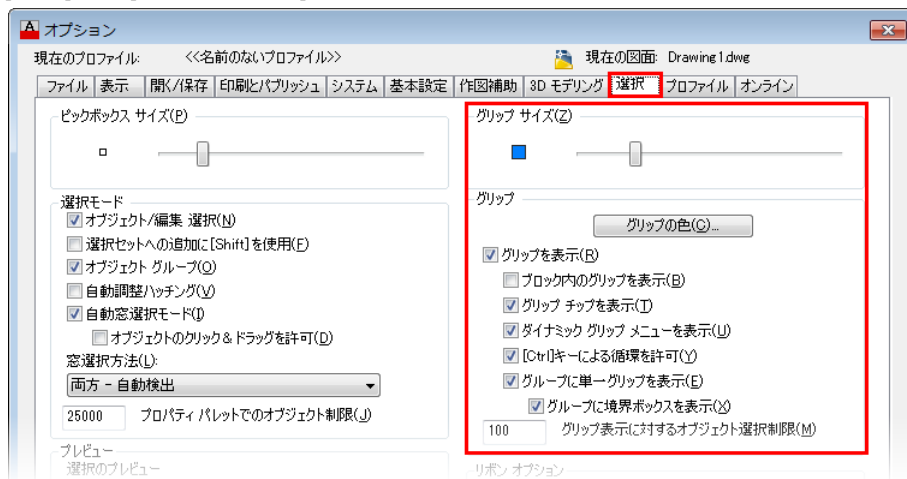
ダイナミック入力がONの場合、グリップにカーソルをあわせると選択したオブジェクトの長さや角度、半径などの寸法情報が表示されます。



NOTE

グリップの設定は、[オプション]で行います。

[選択]タブ-[グリップサイズ]等



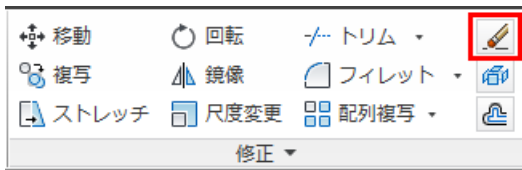
主な修正コマンド

削除[ERASE]コマンド

削除[ERASE]コマンドを使用して、図面から選択したオブジェクトを削除します。

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[修正]パネル-[削除]

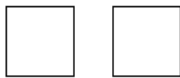
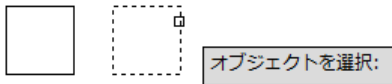


● 基本操作

コマンドを実行

1. オブジェクトを選択:

削除するオブジェクトを選択



2. オブジェクトを選択:

Enter でコマンド終了



NOTE

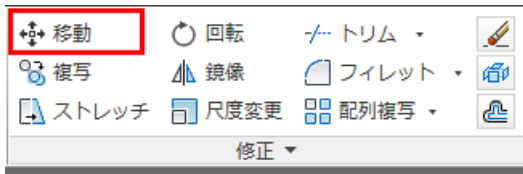
オブジェクトを選択し、[Delete]キーを実行して削除することもできます。

移動[MOVE]コマンド

移動[MOVE]コマンドは、基点と目的点を指定して選択したオブジェクトを移動します。正確に移動するには、座標入力やオブジェクトスナップを利用します。

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[修正]パネル-[移動]



● 基本操作

■ オブジェクトスナップを使用して移動する場合

コマンドを実行

1. オブジェクトを選択:

移動するオブジェクトを選択



オブジェクトを選択:

2. オブジェクトを選択:

Enter で選択を終了



3. 基点を指定 または [移動距離(D)] <移動距離>:

基点にする円の中心をオブジェクトスナップで指定



基点を指定 または 1445.9155 437.9238



4. 目的点を指定 または <基点を移動距離として使用>:

目的点になる長方形の角をオブジェクトスナップの端点で指定



目的点を指定 または <基点を移動距離として使用>: 11.6505 < 320°

5. コマンド終了

